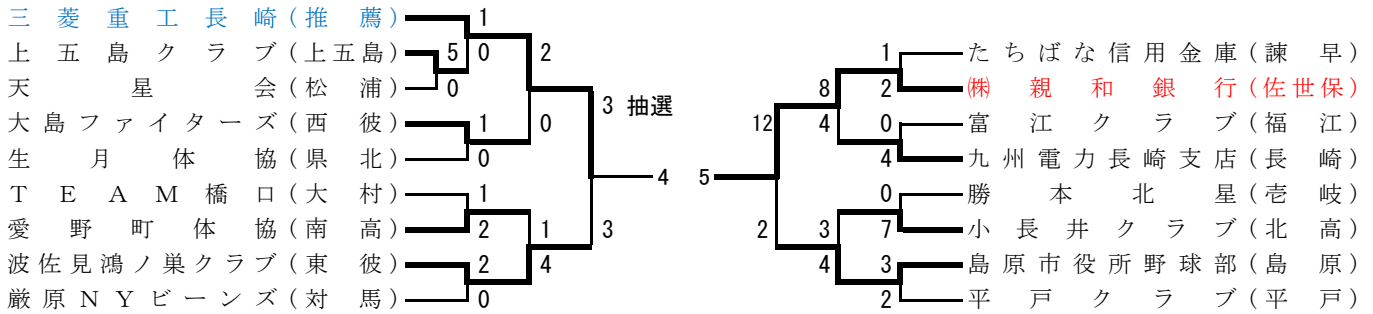


# 初の決勝戦目前の波佐見鴻ノ巣クラブは重工に抽選負け

## 第53回長崎県軟式野球選手権大会

会期：平成15年11月1日(土)～11月3日(月)

会場：県営ビッグNスタジアム、かきどまり野球場



第53回県軟式野球選手権大会第1日は県営ビッグNスタジアム、長崎市営かきどまり野球場に17チームが出場して開幕。ビッグNで一、二回戦の計5試合、かきどま

り野球場で二回戦4試合があり、前年優勝の三菱重工長崎、親和銀行などが準々決勝に駒を進めた。

(平成15年11月2日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

## 上五島打線が効果的な攻め

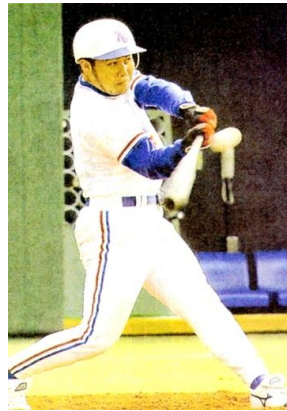
【一回戦】(ビッグN：第1試合) 振球犠盗失併残

天星会	000 000 0	0	5	1	0	0	1	0	4
上五島クラブ	004 100 X	5	0	4	0	1	1	0	5

【本】山口 【二】田辺英 1時間15分

【評】6年ぶり3回目出場の上五島クラブは三回一死から2四球と敵失で得た満塁の好機に、山口が右前で弾む走者一掃のランニングホームラン。四回は武田と田辺英の連打で加点した。守ってはエースの田辺洋と代わった津田が天星会に初回と七回の1安打ずつしか許さなかった。

松浦地区代表の天星会は、3年連続出場の松浦市役所を押しつけて4年ぶり2度目の県選手権だったがビッグNのスコアボードには14個の0を行進中。



【天星会】打安点

⑦鎌田	3	0	0
⑥太田	3	0	0
⑤松岡	3	1	0
⑧山崎	3	0	0
⑨緒方	2	0	0
H崎田	0	0	0
①川渕	3	1	0
③石井	2	0	0
H西井	1	0	0
④坂本	2	0	0
②山本	2	0	0
			24 2 0

【上五島】打安点

⑧宮田	3	0	0
⑦武田	2	1	0
②田辺英	3	1	1
③榎山	2	0	0
⑤山口	3	1	4
④法村	2	0	0
H石口	1	0	0
4大曾	0	0	0
⑨1津	3	2	0
①田辺洋	1	0	0
H9田川	1	0	0
⑥近藤	3	0	0
			25 5 5

3回裏上五島クラブ一死満塁、山口が右越えにランニング本塁打を放つ

【生月】打安点

⑥福田	2	1	0
④近藤	3	0	0
⑨田中	3	1	0
⑧森田大吉	3	0	0
②伊藤	3	0	0
⑤塩屋	2	0	0
③森田大輔	2	0	0
①石屋	3	0	0
⑦塚本	3	0	0
			24 2 0

ともに無失策  
好ゲーム展開

【二回戦】(ビッグN：第2試合) 振球犠盗失併残

生月体協	000 000 00	0	4	3	0	1	0	0	6
大島ファイターズ	000 000 01x	1	5	1	0	0	0	0	6

(延長8回無死満塁制) 1時間39分

【評】球威のある生月・石屋、丁寧にコーナーを突く大島・横田の投手戦は双方無得点で延長八回は無死満塁制の特別延長戦。生月が無得点の後、大島は松本将が左中間に弾いて県選手権初登場の第1戦をサヨナラ勝ちで決めた。両チームとも無失策でテンポのいい好ゲームだった。

【大島】打安点

⑥西田	3	0	0
⑦岩本	3	0	0
②矢野	2	0	0
⑧田中	3	1	0
①横田	3	1	0
④中越	3	0	0
⑨橋田	2	0	0
9出口	1	0	0
③百岳	2	1	0
H3大串	1	0	0
⑤松本将	3	2	1
			26 5 1

【上五島】打安点

⑧宮田	2	1	0
⑦武田	2	1	0
②田辺英	2	0	0
③榎山	3	0	0
⑤山口	3	0	0
⑨津田	3	0	0
①田辺洋	2	0	0
④法村明	2	1	0
⑥近藤	2	0	0
			21 3 0

連覇狙う三菱  
辛勝スタート

【二回戦】(ビッグN：第3試合) 振球犠盗失併残 1時間23分

上五島クラブ	000 000 0	0	5	1	2	0	0	0	3
三菱重工長崎	000 001 X	1	2	3	2	0	0	0	5

【評】連覇を狙う三菱重工長崎が1-0で辛勝した。それまで何度か得点機を逃していた三菱は六回、菅と宮本の連打などで決勝の1点を奪った。

1試合置いての上五島クラブはエースの田辺洋が踏ん張り、何度かは得点のチャンスもあったが、あと1本が出なかった。

【三菱】打安点

④中村	2	1	0
⑨菅	3	1	0
②宮本	3	1	0
③香田	2	1	0
⑧上田	3	0	1
⑦嵩下	2	0	0
H7永米	1	0	0
①久田	2	2	0
⑥前車	0	0	0
⑤平野	2	0	0
			20 6 1

【橋口】打安点

⑥大島航	4	1	1
⑤浅沼	4	0	0
⑨岸川	2	1	0
⑧田中	1	0	0
③本村	3	0	0
⑦大島義	3	0	0
②真鍋	2	0	0
①三根	3	0	0
④古賀	2	0	0
		24	2 1

【愛野】打安点

⑧高瀬	3	0	0
④岩永	2	0	0
6松尾雄	1	0	0
⑤松尾家	3	1	0
③佐藤太	3	1	0
②田中	3	0	0
⑨木戸	3	0	0
⑥1井上	3	0	1
①川岡	2	0	0
4松尾卓	0	0	0
⑦佐藤孝	2	0	0
		25	2 1

# 白熱の投手戦、愛野ミス突く

【二回戦】(ビッグN：第4試合) 振球犠盗失併残 1時間32分

TEAM橋口	000 000 01	1	3	6	0	1	0	0	9	(延長8回無死満塁制)
愛野町体協	000 000 02x	2	8	0	0	1	1	1	3	

【評】球威があり変化球も切れる橋口の三根、丁寧に打たせて取る愛野の川岡。二人の投げ合いは無死満塁制の特別延長戦に入った。八回の橋口は大島航の中前打で1点だったのに対し、愛野は相手ミスと一ゴロでサヨナラ勝ち。2年連続準決勝進出して3回目選手権の橋口には初の初戦敗退で悔やまれる試合だった。

## 両エース力投 波佐見に軍配

【二回戦】(ビッグN：第5試合) 振球犠盗失併残 1時間13分

敵原NYビーンズ	000 000 0	0	4	0	0	1	1	1	2
波佐見鴻ノ巣クラブ	100 001 X	2	3	3	0	3	1	0	3

【評】8年ぶり6度目出場の波佐見鴻ノ巣・中島と、初出場の敵原ビーンズ・田中の力投で見応えのある接戦。小柳の中越え三塁打で先制した波佐見は六回にも山本と岩永の連打で2点目を加えた。

敵原は中島から竹本のヒット1本だけ。四回以降は三者凡退に抑えられ、反撃機をつかめなかった。

【敵原】打安点

⑧小田	3	0	0
⑤西山	3	0	0
③平山	3	0	0
①田中	3	0	0
②阿比留善	3	0	0
⑨内山	2	0	0
⑥高尾	2	0	0
⑦竹本	2	1	0
④阿比留祐	2	0	0
		23	1 0

【波佐見】打安点

⑥前田	3	0	0
②山本	3	1	0
⑧岩永	2	1	1
③小柳	3	1	1
⑤高島	1	0	0
H川内	1	0	0
⑨朝長	2	0	0
9山口	0	0	0
⑦柿本	2	0	0
④長岡	2	0	0
①中島	1	0	0
		20	3 2

【たちば】打安点

⑤原	4	1	0
②上野	3	0	1
④安田	4	0	0
⑧松川	3	0	0
⑥村川	3	0	0
①山下	2	0	0
⑨入江	2	1	0
③山口	2	0	0
⑦伊藤	3	0	0
		26	2 1

## 逆転サヨナラ 親銀が底力

【二回戦】(かきどまり：第1試合) 振球犠盗失併残

たちばな信用金庫	000 000 001	1	3	2	3	0	0	0	7	(延長8、9回無死満塁制)
親和銀行	000 000 002x	2	1	4	1	3	1	0	12	

【評】両チームとも決定機を逸して特別延長戦へ。無死満塁制の八回は双方得点無く、九回に選手権初出場のたちばな信金が押し出しの1点。だが親和銀行は中村が左越えに2点二塁打して決着した。

たちばな信用金庫は平成11年までは諫早信用金庫。高松宮杯では数回の県優勝で全国大会に挑戦したが敗退。この年の1部で初の全国舞台を踏むも会場は佐賀県。九州ブロック会場(大分)より近かった。

【親和】打安点

④原田	3	0	0
⑤森山	3	0	0
⑧徳永	2	0	0
①中田	4	1	0
⑦中村	4	2	2
③林田	3	1	0
⑨北田	3	0	0
②添田	3	0	0
⑥木崎	2	0	0
		27	5 2

【九電】打安点

②佐々木	4	0	0
④山川	4	0	0
①北村	4	1	1
⑦一瀬	4	1	0
⑧池田	3	1	0
⑤本村	1	0	0
⑥坂本	3	0	0
⑨安田	2	0	0
9松下	1	1	1
③中村	2	0	0
		28	4 2

【富江】打安点

⑧石山	4	0	0
⑤樽角	3	1	0
②新井	3	0	0
⑨浦	3	0	0
③石崎	3	1	0
①松崎	3	0	0
⑦松室	3	0	0
④三尾	1	0	0
H福山	1	0	0
⑥小西	2	0	0
		26	2 0

# 九電長崎の北村が2安打完封

【二回戦】(かきどまり：第2試合) 振球犠盗失併残

九州電力長崎支店	000 000 04	0	3	2	1	0	0	0	5	(延長8回無死満塁制)
富江クラブ	000 000 00	4	2	3	0	1	2	0	7	

【評】前試合に続いて八回から特別延長戦。先攻の九電長崎は先頭・松下の中前打と敵失に乗じて計4点を挙げた。投げては北村が伸びのある直球を軸に2安打完封して、初の県選手権で白星を飾った。

2年ぶり12回目出場の富江クラブは松崎が力投したが、打線の援護が無く4大会連続のベスト4入りを逃したばかりか、7大会ぶりに初戦で消えた。

## 小長井クラブ、攻守にまさる

【二回戦】(かきどまり：第3試合) 振球犠盗失併残 (6回コールド)

勝本北星	000 000	0	5	4	0	0	0	0	2
小長井クラブ	100 033x	7	3	5	1	4	0	0	7

【本】宮崎  
【二】本田、松永

【評】前年に二度目のベスト4入りし、3年連続8回目出場の小長井クラブは、1点リードの五回裏に4長短打で3点を追加。六回には4番宮崎の2点本塁打で試合を決めた。本田は六回参考ながら無安打無得点試合を達成した。一方の勝本北星も3年連続で9回目の選手権だったが、守備の乱れから失点して、8大会連続の初戦敗退となった。

【勝本】打安点

⑤篠崎	1	0	0
④日高	3	0	0
⑨宇都宮	2	0	0
③松尾	2	0	0
⑥本城	2	0	0
②川谷	2	0	0
⑦坂本	2	0	0
1大久保	0	0	0
⑧中村	1	0	0
H8永元	1	0	0
①7岩本	0	0	0
		16	0 0

【小長井】打安点

⑤横田	1	1	0
⑧鶴田	3	0	1
⑨辻	3	2	1
③宮崎	4	1	2
①本田	3	1	1
⑨松永	3	1	1
②中村	3	1	0
⑦花木	2	0	0
④山口	2	0	0
H新富	1	0	0
R池田昌	0	0	0
		25	7 6

【島原】打安点

⑥	村田	4	2	1
④	堀川	4	2	0
①	柴田	4	0	0
⑤	上田	3	0	0
②	森本	3	0	0
③	小多	3	0	0
⑧	小林	3	1	0
⑦	山本	3	2	1
⑨	宮崎	2	0	0
H9	下田	1	0	0
		30	7	2

## 島原市役所 柴田が力投

【二回戦】(かきどまり：第4試合) 振球犠盗失併残

島原市役所	011 100 0	3	3	0	0	2	0	0	6
平戸クラブ	100 001 0	2	4	0	0	0	4	0	4

【評】2年連続11回目出場の島原市役所が、柴田の力投で逃げ切り5大会連続初戦敗退から、昭和60年以来18年ぶりに白星を挙げた。1-1同点で三回の島原は敵失に乗じて勝ち越すと、四回には村田の左前適時打で突き放した。守っては柴田が7安打を浴び2失点ながら粘投した。24回目出場の平戸クラブは六回に1点差に詰め寄ったが、あと一歩及ばず、1年おいて5大会連続で初戦敗退が続いている。

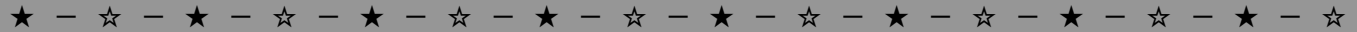
【本】松本知

【三】阿部

【二】阿部、堀川

【平戸】打安点

⑥	木村	3	0	0
⑦	井手口	3	1	0
②	松本知	3	1	1
③	阿部	3	3	1
⑤	椎葉	3	2	0
⑧	草合	3	0	0
④	前田	2	0	0
H	松山	1	0	0
①	松本栄	3	0	0
⑨	山口	2	0	0
H	田尻	1	0	0
		27	7	2



大会第2日はビッグN、かきどまりの2会場で準々決勝、準決勝の計6試合を行い、前回覇者の三菱重工長崎と準Vの親和銀行が決勝進出。5年連続で同カードの対戦

となった。波佐見鴻ノ巣クラブは準決勝で三菱重工に3-3で同点。降雨のため抽選により惜敗した。

(平成15年11月3日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

## 横田好投も打線が不発

【準々決勝】(かきどまり：第1試合) 振球犠盗失併残

三菱重工長崎	000 101 0	2	0	7	2	3	0	1	8
大島ファイターズ	000 000 0	0	4	0	0	1	0	0	1

【二】矢野、菅

【評】三菱重工長崎は四回一死三塁に石川の右前打で先制すると、六回には赤瀬の中前適時打で2点目を加えた。先発の赤瀬はテンポが良い投球で被安打2の無失点に抑えた。

大島ファイターズの横田は前日の生月体協を8回封じての連投で、重工打線に対しても好投したが打線の援護が無かった。

【三 菱】打安点

⑥5	中村	3	0	0
⑨7	久米	3	0	0
H7	嵩下	1	0	0
④	宮本	3	0	0
③	香田	3	0	0
⑦	上田	1	0	0
R9	菅	1	1	0
⑧	江添	2	0	0
②	石川	1	1	1
①	赤瀬	2	2	1
⑤6	平野	2	0	0
		22	4	2

【大 島】打安点

⑧2	西田	3	0	0
⑥	中越	3	1	0
②	矢野	2	1	0
③	松本喜	1	0	0
④	本多	3	0	0
①	横田	2	0	0
⑦	橋田	2	0	0
③8	百岳	2	0	0
⑨	出口	2	0	0
⑤	松本将	2	0	0
		22	2	0

## 守りのミス響き、愛野町体協敗退

【準々決勝】(かきどまり：第2試合) 振球犠盗失併残

波佐見鴻ノ巣クラブ	102 10	4	4	8	0	4	1	1	8
愛野町体協野球部	100 00	1	0	5	0	1	1	0	4

(5回降雨コールド) 【二】川内

【評】相手ミスに乗じた波佐見が準決勝に進出した。初回岩永の右前適時打で先制の波佐見は、同点とされた三回に悪送球などで得た二死一三塁の好機に川内の左越え2点二塁打で突き放すと、救援の前田も要所を締めた。

6年ぶり6回目選手権の愛野町体協は、投手陣を含めた守りの崩れが響いて、平成5、6年大会以来三度目のベスト4は成らなかった。

【波佐見】打安点

⑥1	前田	2	0	0
④	長岡	3	0	0
⑧	岩永	2	1	1
③	小柳	2	2	0
②	高島	1	0	0
⑨6	朝長	3	0	0
⑤	川内	2	2	2
⑦	柿本	2	0	0
①9	山口	2	0	0
		19	5	3

【愛 野】打安点

⑥3	高瀬	1	0	0
④	岩永	1	0	0
⑤	松尾家	2	2	0
⑧	木戸	2	0	0
①6	井上	2	1	0
⑨	松尾卓	2	0	0
⑦	佐藤孝	1	0	0
②	中尾	2	0	0
③	大津	0	0	0
1	松尾雄	2	0	0
		15	3	0

【親 和】打安点

④	原田	4	1	0
⑤	森山	2	1	0
⑧	徳永	1	1	2
③	中村	5	1	2
⑦	中村	4	1	1
⑨	北田	4	1	0
①	沖田	3	1	0
②	添田	4	1	0
⑥	木崎	4	0	1
		31	8	6

【九 電】打安点

②	佐々木	4	0	0
④	山川	3	0	0
⑧	松下	4	0	0
⑦	一瀬	4	2	1
⑨	池田	4	1	0
⑥	坂本	3	2	0
③	中村	2	0	0
①	田中	1	1	1
1	堀江	2	0	0
⑤	宮崎	3	0	0
		30	6	2

## 特別延長戦で力尽きた九電長崎

【準々決勝】(ビッグN：第1試合) 振球犠盗失併残 (延長8回無死満塁制)

親和銀行	101 100 05	8	3	9	1	8	2	0	12
九州電力長崎支店	020 010 01	4	3	2	1	3	2	1	7

【二】添田

【評】3-3で特別延長戦となった八回の親和銀行は、4番中田の中前打などで一挙5点を奪った。足攻で相手バッテリーを揺さぶるなど試合巧者ぶりを見せた。九電長崎は五回に同点に追いついたが、前日の富江クラブ戦でも延長8回を戦っており、延長で力尽き、初の県選手権は1勝1敗。

【島原】打安点

⑥	堀川	3	1	0
④	島田	3	0	0
①	柴田	4	3	2
⑤	上田	3	0	0
②	本多	4	1	0
③	小林	3	0	0
⑦	宮崎	3	1	1
⑨	佐藤	2	0	0
⑧	下田	3	0	0
		28	6	3

【小長井】打安点

②	横田	4	2	0
⑤	辻英	3	0	0
⑥	辻和	4	0	1
③	宮崎	3	0	0
④	本田	3	0	0
⑦	松永	3	0	0
⑧	鶴田	2	0	0
①	池田	3	0	0
⑨	小松	3	0	0
		28	2	1

## 島原市役所の柴田が決勝点

【準々決勝】(ビッグN：第2試合) 振球犠盗失併残 (延長8回無死満塁制)

島原市役所	010 010 02	4	6	2	2	1	2	0	7
小長井クラブ	101 000 01	3	5	2	1	6	1	0	6

【二】柴田

【評】今大会6度目の特別延長戦。島原市役所が競り勝って11回目の選手権で初のベスト4入りした。延長八回の島原は柴田が中前に2点打し、その裏の小長井クラブを1点に抑えた。柴田は投げても緩急をつけた投球で8回2安打に抑える好投を見せた。

【三菱】打安点

⑥5	中村	3	0	0
⑨	菅	3	1	0
⑧	江添	2	0	0
③	香田	3	0	0
②4	宮本	4	2	1
④7	久米	2	0	0
6	前車	1	0	0
⑦	富下	1	0	0
2	鈴木	2	0	0
①	永田	2	0	0
1	小森	0	0	0
1	守田	1	0	0
⑤	平野	2	0	0
H7	上田	1	0	0
		27	3	1

# 波佐見の中島、1人で投げ抜く

【準決勝】(かきどまり：第3試合) 振球犠盗失併残

三菱重工長崎	100	000	2	3	3	5	1	4	0	0	9
波佐見鴻ノ巣クラブ	200	000	1	3	4	6	4	0	3	0	7

【二】小柳

【評】雨による悪コンディションの中、三菱重工が抽選で決勝進出を決めた。

1点差を追う七回の重工は菅の左前打を足掛かりに敵失などで逆転に成功。その裏の波佐見鴻ノ巣は内野安打の柿本を三塁に進めて、捕逸で同点とした。昭和58年第33回大会で初出場、3回目となった平成2年にベスト4進出した時は大村市役所に対し2-2で無死満塁制の延長戦を二回続けて逆転サヨナラ負けで決勝進出を逃がしている。8年ぶり6回目の選手権で決勝進出を目前に抽選敗退は、速球を武器に一人で投げぬいた中島には残念な水入り敗戦であった。

【波佐見】打安点

②	前田	3	0	0
⑥	高島	1	1	0
⑧	岩永	3	0	0
③	小柳	4	1	1
⑤	川内	2	1	1
④	長岡	1	0	0
⑨	朝長	1	0	0
9	山口	1	0	0
⑦	柿本	3	1	0
①	中島	2	0	0
		21	4	2



# 親和銀行が11安打12得点

【準決勝】(ビッグN：第3試合) 振球犠盗失併残

島原市役所	020	00	2	1	4	2	0	7	0	4
親和銀行	228	0X	12	2	2	0	9	0	1	5

(5回コールド) 【三】木崎、中田

【評】11安打で12得点の親和銀行が効率の良い攻めを見せて5回コールドで島原市役所を下した。

2-2で同点の二回裏の親銀は原田の右前適時打などで2点を奪って引き離すと、三回は打者12人を送って一挙8点を奪った。

島原市役所は失策が7と、守備が乱れて初の準決勝戦で大敗を喫した

2回裏、親和銀行一死三塁、勝ち越し打を放った原田(右)が敵失の間に生還し4点目

【島原】打安点

⑥	堀川	3	1	0
④	島田	1	0	0
①	柴田	2	1	0
⑤	上田	1	0	0
②	本多	0	0	0
③	小林	1	0	0
⑦	宮崎	2	1	1
⑨	佐藤	2	0	1
⑧	下田	2	0	0
		14	3	2

【親和】打安点

④	原田	4	3	1
⑤	森山	4	1	1
⑧	徳永	2	0	0
③	中田	2	1	1
⑦	中村	3	2	1
⑨	北田	3	1	0
①	吉村	1	0	0
H	下川	2	1	1
1	沖田	0	0	0
②	添田	3	1	0
⑥	木崎	3	1	0
		27	11	5

## 障害 感じさせず はつらつプレーで活躍

島原市役所・堀川

〇…左手に障害を抱えた島原市役所の1番・遊撃手の堀川政伸(24)がハンディを感じさせない俊敏な動きを見せた。

2歳の時に左手を農機具で切断。親指、小指の指先と残り3本を失った。それでも、「物心つく前の事故で障害と感しない」。小学2年でソフトボールを始め、島原工高2年の時に全国高総体出場、3年時には主将も務めた。

グラブは残った指で絡め取るため網目が十字形のを、バットは右手1本で振り切れるように軽量のものを選ぶ。準決勝で親和銀行に敗れたが、巧みなグラブさばきを披露。自慢の打撃でも3試合で10打数4安打とチームを引っ張った。

現在、島原市の福祉事務所福祉係の窓口で障害者手帳の配布、公的補助などに奔走。週末に大好きな野球に打ち込む。障害者で作る野球チームでも主力として活躍中だ。「障害者だからと殻に閉じこもる必要はない。残った機能を生かせばいい。スポーツに限らず、社会に積極的に飛び込んでいきたい」と屈託がない。



ハンディを感じさせないはつらつプレーを見せた島原市役所の堀川政伸選手

# 親和銀行が2年ぶりV

## 重工長崎、追撃及ばず

表彰選手	最高殊勲選手賞	中村 慎吾 (親和銀行)
	優秀選手賞	原田 和寛 (親和銀行)
	首位打者賞	中村 慎吾 (親和銀行)
	敢闘選手賞	上田 学 (三菱重工)

【三 菱】 打安点

⑥ 中 村	3 0 0
⑨ 菅	4 0 0
③ 香 田	3 0 0
⑧ 江 添	4 1 0
④5宮 本	3 1 1
⑦ 上 田	4 2 2
⑤ 平 野	2 0 0
H4久 米	1 1 1
② 鈴 木	2 0 0
H 石 川	1 0 0
① 守 田	3 0 0
1 赤 瀬	0 0 0
1 永 田	0 0 0
	30 5 4

【決勝戦】 11/4 (ビッグN) 振球犠盗失併残

三菱重工長崎	010 200 001	4	5	2	1	3	0	0	4
親 和 銀 行	000 400 10X	5	1	3	0	2	1	1	4

【評】 親和銀行が鮮やかな集中打で三菱重工長崎に逆転勝ちして16度目の優勝を飾った。

親銀は先発中田の乱調で3点リードを許す苦しい展開。しかし四回先頭原田が三塁打、野選と中田の右前適時打で1点差に。さらに中村の右前打で二者を還しこの回4点を挙げて逆転した。七回には二死二塁に森山の右越え二塁打で加点した。

中田は序盤こそ高目の棒ダマを痛打されたが、中盤以降は低めに集めて復調。最後は沖田につないで三菱の追撃をしのいだ。

三菱重工打線は好機を確実に得点に結びつけ、中盤まで優位に進めたが、投手陣がリードを守り切れなかった。



(平成15年11月4日付けの長崎新聞より記事と写真は抜粋)

【親 和】 打安点

④ 原 田	4 2 0
⑤ 森 山	3 1 1
⑧ 徳 永	3 0 0
⑬ 中 田	4 1 1
⑦ 中 村	4 1 2
⑨ 北 田	4 0 0
③1 沖 田	3 0 0
② 添 田	2 0 0
⑥ 木 崎	3 0 0
	30 5 4

4回裏親和銀行無死二三塁、中村が右前へ逆転適時打を放つ

○…四回に逆転タイムリーを放った親和銀行の5番中村が最高殊勲選手と首位打者をダブル受賞。「たまたまです」と照れた。

3点リードを許す苦しい展開。それでも「決勝戦は九回制でまだ回は浅い。必ず好機は訪れる」と焦りはなかった。その言葉通り、四回に好機が巡ってくる。2点を奪ってなお無

死二三塁。「ゴロを打てば何とかかな」とカウント1-1から真ん中の甘いスライダーを右へ流し打った。

今季は主力3人が引退。しかもエース山口ら3人が故障離脱した。国体出場権も逃がし、今大会も序盤2試合が延長戦と苦しい戦いを強いられた。中村は「最後はいい形で終わった。来季につながる」と最高の笑顔を見せた。



### 秋の叙勲

#### ▼旭日双光章

県軟式野球連盟理事長

ひらい きよみつ

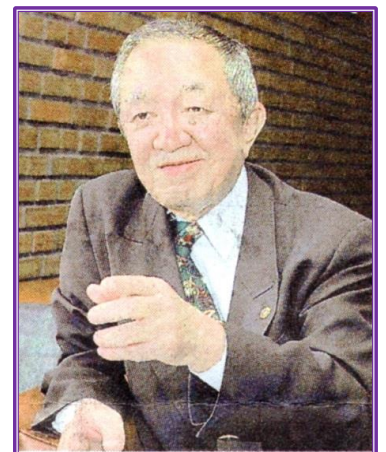
平井 清光 さん(70)

長崎の草野球人に愛されている長崎市民早朝野球の生みの親であり、育ての親。45回目のシーズンを約一カ月前に終えた。「ここまでやってこられたのも運営委員や選手、ファンのおかげ」と目を細める。早朝野球がスタートした1959年(S. 34年)長崎新聞社の報道記者だった。市軟式野球連盟から大会の取材や記録の紙面掲載を依頼され、運営にも携わることに。シーズン中は毎朝四時に起床し球場へ。ボランティア

市民スポーツと共に

アは今でも続く。40年近く会場だった旧・大橋球場そば(江里町)に家を建てたのも、そのため。記者経験を生かし「県スポーツ史」「県高校野球史」などを編集。各地を巡り掘り起こした記録と資料は本県スポーツ界の貴重な財産だ。

理事長に就任し約16年。「受賞はそれだけ年齢を重ねたということ。若い人にバトンタッチしたい」。そう話す顔に満足感が広がった。



「5年後の早朝野球50周年はこの目で見たい」と話す平井清光さん

(平成15年11月3日付けの長崎新聞より記事と写真を転載)

2003年(平成15年)秋の叙勲の受章を祝って県軟式野球関係者が集って祝賀会が催されたのは翌16年2月8日にあった県軟式野球連盟評議員総会の終了後だった。

それから3年後、平成19年2月21日午後1時21分に肝臓がんのため、長崎市の聖フランシスコ病院で死去。22日の通夜や23日の葬儀は大橋球場近くの、大橋メモリードホールで行なわれ多くのスポーツ関係者が別れ

を告げた。

そして翌20年9月27日。受章祝賀会が行なわれた同じ長崎新聞文化ホール「アストピア」で、市民早朝野球創立50周年祝賀会が催された。故・平井清光氏の遺志を受け継いだ、丸山隆幸・市民早朝野球協会理事長の加筆により『50年のあゆみ 暁の熱闘～最後に笑うのは』の記念誌は同日に発行された。=合掌=

平成15年に開催されたその他の競技会の戦績① (一般のみ)

第58回国体一般B一次予選 5/17～:長崎

佐世保市水道局(佐世保)	5
西九州三菱自販(長崎)	1 4
轟クラブ(北高)	2 5
新星クラブ(島原)	0 4
TEAM橋口(大村)	2 6
松浦市役所(松浦)	2 3
美津島クラブ(対馬)	1
大瀬戸クラブ(西彼)	2
九州電力長崎支店(長崎)	0 1
上五島クラブ(上五島)	2 0
平戸クラブ(平戸)	1 2
吉井クラブ(県北)	2 0
波佐見鴻ノ巣クラブ(東彼)	1
三井楽クラブ(福江)	1
松尾総業クラブ(南高)	0 0
たちばな信用金庫(諫早)	1 2
アイケン医院マッスルズ(佐世保)	5 1
郷ノ浦ヤンキース(老岐)	0 1
厳原マリナーズ(対馬)	3

一次予選で勝ち上がった3チームとソニーセミコンダクタ九州による二次選考会

第58回国体一般B二次予選 5/24 長崎

波佐見鴻ノ巣クラブ(東彼)	5
佐世保市水道局(佐世保)	6 0
ソニーセミコンダクタ九州(諫早)	4 7
三井楽クラブ(福江)	3

第25回西日本1部県予選 4/5～:南高

大村市役所(大村)	6
飯盛クラブ(北高)	5 2
吾妻町体協野球部(南高)	0 1
西海棒球隊(西彼)	3 0
福江球友会(福江)	棄
西海クラブ(佐世保)	3 1
厳原マリナーズ(対馬)	0 6
九州電力長崎支店(長崎)	3 9
波佐見クラブ(東彼)	3 8
たちばな信用金庫(諫早)	1 8
安中クラブ(島原)	棄
鹿町バンビーズ(県北)	2 2
郷ノ浦ヤンキース(老岐)	5 4
松浦市役所(松浦)	3 1
舛田グループ(上五島)	2 2
島クラブ(平戸)	1

第25回西日本大会1部 5/23～:北九州

- 【一】 4-0 高松市役所(香川)
- 【二】 4-0 マリン(宮崎)
- 【準々】 5-4 九電北九州(開催地)
- 【準】 5-3 モンスター(愛媛)
- 【決】 9-10 (11回)鹿児島ミッキーズ

第58回国体成年県予選 5/10～:平戸

上五島迷球会(上五島)	棄
おじんクラブ(平戸)	0
松浦壮年クラブ(松浦)	2 2
メンフッズ福江(福江)	2 3
波佐見名球会(東彼)	0 3
長工クラブ(長崎)	9 2
大村市役所(大村)	0 7
大瀬戸壮年野球部(西彼)	3 0
佐世保西海クラブ(佐世保)	2 4
上対馬北斗クラブ(対馬)	4 4
北松壮年(県北)	6 0
アンクルボーイズ(老岐)	1 0
轟壮年クラブ(北高)	0 1
ヨシスポーツクラブ(諫早)	4

国体一般A県予選 4/19～:佐世保

前年天皇杯全日本出場の三菱重工と、親和銀行による3戦2勝方式

九州ミニ国体 8/22～:佐賀県  
3部門とも九州で敗退

一般A=三菱重工長崎(代表決定戦で敗退)  
一般B=ソニーセミコンダクタ九州  
成年=メンフッズ福江

第25回西日本2部県予選 4/5～:西彼

P・L・F(大村)	5
大島ファイターズ(西彼)	3 4
西龍クラブ(平戸)	7 1
国見野球クラブ(南高)	0 2
あすか電機(長崎)	4 3
森山クラブ(北高)	3 7
今福メッツ(松浦)	8 3
島原市役所(島原)	1 10
福島クラブ(県北)	4 1
佐世保市役所(佐世保)	5 3
オールスターズ(諫早)	1 7
増山建設(福江)	0 11
石田ジャガーズ(老岐)	0 1
アウトローズ(東彼)	3 9
美津島マージャルズ(対馬)	4 3
同志会(上五島)	3

第25回西日本大会2部 5/16～:徳島県

- 【一】 5-3 ベースボールクラブ・アボロ(広島)
- 【二】 1-8 SPクラブ(開催地)

天皇賜杯第58回県予選 7/19～:諫早

上県アスレックス(対馬)	棄
福江トリムスター(福江)	棄
安中クラブ(島原)	棄
ソニーセミコンダクタ九州(諫早)	4 4
舛田グループ(上五島)	1 4
アイケン医院マッスルズ(佐世保)	4 3
オール江迎(県北)	8 1
小長井クラブ(北高)	4 2
長崎県支払基金(長崎)	6 1
中興化成工業(松浦)	5 5
三菱重工長崎(長崎)	4 6
厳原レパーズ(対馬)	0 9
国見野球クラブ(南高)	4 4
中村クラブ(大村)	棄
たちばな信用金庫(諫早)	4 0
株親和銀行(佐世保)	4 1
西海棒球隊(西彼)	1 17
波佐見鴻ノ巣クラブ(東彼)	6 1
西龍クラブ(平戸)	3

7/5からの予定が雨天延期で棄権4チーム

天皇賜杯第58回全日本 9/12～:徳島県

- 【一】 1-9 パイオニア(株)川越(埼玉)

第26回九州選手権予選 4/12～:長崎

ソニーセミコンダクタ九州と西部ガス長崎が大分での大会に出場。

第7回西日本選手権予選 9/13～:諫早

アイケン医院マッスルズが優勝

第7回西日本選手権 10/31～:香川県

- 【一】 1-2 三井金属彦島(山口)

第11回県壮年大会 10/18～:飯盛

轟壮年クラブ(北高)	9
コーカスクラブ(長崎)	5 5
大村市役所(大村)	4 2
北松壮年クラブ(県北)	5 3
おじんクラブ(平戸)	2 3
メンフッズ福江(福江)	4 4
佐世保西海クラブ(佐世保)	2 3
ヨシスポーツクラブ(諫早)	9 3
大瀬戸クラブ(西彼)	0 7
厳原壮年ブラボー(対馬)	4 4
松浦壮年クラブ(松浦)	3

平成15年に開催されたその他の競技会の戦績② (一般のみ)

高松宮賜杯第47回1部 6/14～:島原

九州電力長崎支店(長崎)	6
小長井クラブ(北高)	2 2
豊玉町野球部(対馬)	4 4
吾妻町体協野球部(南高)	0 2
平戸クラブ(平戸).....棄	3
<b>TEAM橋口(大村)</b>	4
西海クラブ(佐世保)	3 1
上五島ブローズ(上五島)	6
BOWS(西彼)	4
安中クラブ(島原).....棄	5
波佐見クラブ(東彼)	
<b>たちばな信用金庫(諫早)</b>	3
生月体協(県北)	2 9
天星会(松浦)	1
福江球友会(福江).....棄	

5/31からの予定が台風延期で棄権3チーム

たちばな信用金庫は九州ブロック予選(大分)で、鹿児島に勝利(9-0)し全国へ

高松宮賜杯第47回2部 6/14～:対馬

ドンc h a n s(島原).....棄	
厳原ファイターズ(対馬)	9
県職五島(福江)	2 0
<b>あすか電機(長崎)</b>	6 8
国見野球クラブ(南高)	1 10
厳原ブラボー(対馬)	0 11
電源開発(松浦).....棄	0
A T M B ・アトム(諫早)	0
佐賀エンゼルス(対馬)	8 3
クローズ(佐世保).....棄	6
<b>厳原NYビーンズ(対馬)</b>	8
石田ジャガーズ(老岐)	1

5/31からの予定が台風延期で棄権3チーム

九州ブロック(宮崎)で敗退

第55回県民体育大会 11/8～:諫早

(北高来)小長井クラブ	6
(北松浦)鹿町町	5 1
(老岐)郷ノ浦ヤンキース	2 0
(長崎)三菱重工長崎	7 5
(松浦)天星会	4 1
(東彼杵)彼杵スラッガーズ	6 1
(南松浦)三井楽クラブ	1 2
(諫早)たちばな信用金庫	4 2
(大村)TEAM橋口	6 3
(平戸)西龍クラブ	3 0
<b>(佐世保)アイケン医院マッスルス</b>	4 3
(対馬)豊玉町野球部	2 1
(島原)安中クラブ	0 0
(南高来)吾妻町体協野球部	1 6
(西彼杵)大島ファイターズ	5 3
(福江)福江球友会	3

高松宮賜杯第47回【1部】全日本 10/10～:佐賀県

たちばな信用金庫 【一】 1-4 MBCカザ(長野)=優勝

長崎県民体育大会について

長崎県民体育大会(昭和40年までは県民体育祭)は昭和昭和23年5月に第1回大会が軟式野球をはじめ11競技が開催された。だが最初のうちは全県内地区からの参加とはいかず、特に老岐や対馬は交通の便が悪く費用もかかる点もあった。昭和24年から老岐・対馬・平戸の3離島による「玄海体育祭」が開催されており、対馬や老岐からの参加はほとんどなかった。全地区が揃ったのは32年で、それも対馬からは軟式テニス1競技のみ。対馬が軟式野球競技に初参加をしたのは16回大会(39年)からである。

第1回大会から2回までは長崎市開催であったが、3回大会から5市(諫早→大村→島原→佐世保)持ち回りで開催することになった。それも長崎国体前年の43年から4年連続、長崎市で。佐世保で1年行ない次は長崎と変則的であったが現在の3地区持ち回りは51年から。

開催時期も当初は5～6月であったが、49年から秋の開催となり、現在は11月第2週に定着している。

資料が乏しいため、全大会とまではいかないが、県民体育大会軟式野球競技会決勝戦の戦績を掲載する。

回	年	会場	決勝戦	回	年	会場	決勝戦
13	S. 36	諫	南高 -	38	61	長	(島原)健友クラブ 3-0 (諫早)NTT長崎無線局
14	37	大	佐世保 -	39	62	佐	(北松)生月体協 5-4 (長崎)三菱重工長崎
15	38	島	長崎 -	40	63	諫	(長崎)県共済連 1-0 (北松)生月体協
16	39	佐	長崎 -	41	H. 元	長	(長崎)県経済連 2-0 (北松)オール江迎
17	40	長	島原 -	42	2	佐	(佐世保)西海クラブ 1-0 (東彼)波佐見野球部
18	41	諫	長崎 -	43	3	諫	(老岐)郷ノ浦ヤンキース 2-0 (西彼)大瀬戸クラブ
19	42	大	長崎 5-0 北松	44	4	長	(大村)大村市役所 1-0 (北高)轟クラブ
20	43	長	長崎 -	45	5	佐	二日目が雨で打ち切り 4チーム同率優勝 松浦市役所/大村市役所/佐世保クラブ/鹿町バンビーズ
21	44	〃	(長崎)三菱重工 7-0 (西彼)高島炭鉱 【長崎国体開催】	46	6	諫	(諫早)ソニー長崎 3-0 (長崎)三菱重工長崎
22	45	長	諫早 6-1 南松	47	7	長	(南松)富江クラブ 2-1 (長崎)三菱重工長崎
23	46	〃	雨天中止	48	8	佐	(南松)富江クラブ 7-2 (佐世保)西海クラブ
24	47	佐	長崎 4-3 松浦	49	9	諫	(佐世保)アイケン医院マッスルス 4-1 (諫早)ソニー長崎
25	48	長	諫早 1-0 対馬	50	10	長	(長崎)三菱重工長崎 6-3 (佐世保)アイケン医院マッスルス
26	49	〃	二日目が雨で打ち切り中止	51	11	佐	(諫早)ソニー長崎 2-1 (北高)轟クラブ
27	50	佐	福江ビクトリー 5-0 平戸クラブ	52	12	諫	(佐世保)アイケン医院マッスルス 4-1 (北松)生月体協
28	51	諫	南高 -	53	13	長	(諫早)ソニー長崎 7-0 (対馬)豊玉町野球部
29	52	長	長崎 4-0 老岐	54	14	佐	(長崎)三菱重工長崎 3-2 (佐世保)アイケン医院マッスルス
30	53	佐	福江ビクトリー 5-4 (佐世保)海自造修所	55	15	諫	(佐世保)アイケン医院マッスルス 3-2 (北高)小長井クラブ
31	54	諫	二日目が雨で打ち切り中止	56	16	長	(長崎)三菱重工長崎 7-0 (佐世保)西海クラブ
32	55	長	松浦 -	57	17	佐	(大村)ニューインパリアルズ 6-1 (南松)上五島町
33	56	佐	(佐世保)親和銀行 5-1 (対馬)海王	58	18	諫	二日目が雨・上対馬クラブ・福江球友会・三菱重工・新上五島町
34	57	諫	(長崎)日野自動車 1-0 (北高)轟クラブ	59	19	長	(大村)TEAM橋口 16-7 (長崎)西部ガス
35	58	長	(対馬)上県クラブ 3-1 (松浦)御厨クラブ	60	20	佐	(長崎)三菱重工長崎 2-0 (大村)TEAM橋口
36	59	佐	(松浦)御厨クラブ 1-0 (南松)上五島クラブ	61	21	諫	(大村)TEAM橋口 2-0 (五島)富江クラブ
37	60	諫	(長崎)三菱重工長崎 -	62	22	長	(南松浦)新上五島町 3-1 (大村)TEAM橋口